

平成十七年年度 国文学科卒業論文題目

浄瑠璃の国語学的研究

秋田 瑞恵
〔矢野 準〕

明治期雑誌資料の国語学的研究—『女学雑誌』の資料的性格—

入江 敦子
〔坂本 浩二〕

『今昔物語集』の研究

岩野ちひろ
〔今井 明〕

『源氏物語』の研究—秋好中宮について—

江副 陽子
〔田坂 憲二〕

中古和歌の研究—『大式高遠集』について

大岡 聡美
〔田坂 憲二〕

『菅家文章』における表現とその特質

小野 由香里
〔月野 文子〕

大岡昇平研究—恋愛小説における光とは

尾道 美佳
〔石井 和夫〕

現代日本語の助詞の研究—日本語学習者の誤用を中心に—

上村 志帆
〔川野 靖子〕

江戸川乱歩『黒蜥蜴』—女としての「黒蜥蜴」—

川口 景子
〔石井 和夫〕

日本語文法研究—福岡女子大学附属図書館蔵本『天稚彦物語』を中心に—

川瀬まり子
〔坂本 浩二〕

浮世草子の研究—『けいせい色三味線』について—

北島なつみ
〔大久保順子〕

待遇表現の研究—「おゝする」とその周辺の表現について—

沓屋 法子
〔矢野 準〕

坂口安吾研究—『桜の森の満開の下』を心に—

工藤 文佳
〔石井 和夫〕

浮世草子の研究—『西鶴諸国はなし』巻一の四「傘の御託宣」および巻二の六「樂の男地藏」について—

久芳 景子
〔大久保順子〕

『建礼門院右京大夫集』の研究

熊野佳奈子
〔田坂 憲二〕

万葉の表現—「生」と「死」を巡る歌—

小出いずみ
〔田坂 憲二〕

〔月野 文子〕
前期読本の表現—『英草紙』、『雨月物語』の語種比率を中心として—

古賀 美歌
〔矢野 準〕

三島由紀夫研究—『近代能楽集』を中心に—

小林 陽子
〔石井 和夫〕

『俊頼髓脳』の研究

小宮 綾子
〔今井 明〕

『十訓抄』の研究

齋藤奈緒美
〔今井 明〕

横光利一研究—『花園の思想』を中心に—

坂之上静香
〔石井 和夫〕

キリシタン資料の研究—『懺悔録』における二字漢語について—

真田華菜子
〔坂本 浩二〕

『薄雪物語』の研究

佐野 智美
〔大久保順子〕

鹿児島方言の研究—薩摩狂句誌『渋柿』における助詞・助動詞の用法を中心に—

澤 亜沙子
〔坂本 浩二〕

宇野浩二について—『子を貸し屋』を中心

に

志賀亜希子

〔石井 和夫〕

〔石井 和夫〕

芥川龍之介研究 「偷盜」を中心に

〔石井 和夫〕

『とはすがたり』研究

西之園美穂

曲亭馬琴の語法と表現―形容詞の実態―

〔今井 明〕

八木奈緒子

重松まどか

平安時代歌人の研究―藤原公任について

〔矢野 準〕

〔石井 和夫〕

花田 裕子

現代日本語の指示語の研究―文脈指示における「この」と「その」の使い分け―

中世女流日記文学の研究

眞野 恭子

〔田坂 憲二〕

山仲 茉世

〔今井 明〕

談義本の研究―『当世下手談義』について

〔川野 靖子〕

『蜻蛉日記』の研究

末松 百子

林 愛恵

近世和歌の研究 向陵集 福岡の女性歌人

〔田坂 憲二〕

〔大久保順子〕

吉谷 朱由

中島敦「北方行」論

高尾 絵美

長屋王と長屋王邸における詩苑

野村望東

〔大久保順子〕

〔石井 和夫〕

原 美織

〔大久保順子〕

中世文学とその世界―『今昔物語集』の

〔月野 文子〕

※〔 〕内は指導教員名

「理」を中心に

田中佐樹子

遠藤周作研究―「海と毒薬」を中心に―

平成十七年度

英文学科卒業論文題目

〔今井 明〕

平野美由紀

池上 奈々 A Study on Politeness

『とはすがたり』の研究―父の遺言からみ

〔石井 和夫〕

岩松 祥子 A Comparative Study of

る『とはすがたり』―

千鳥友美子

平安朝和歌の研究―紀貫之の歌語使用の特

〔向井 剛〕

〔今井 明〕

武藤 瑞紀

〔向井 剛〕

近代語研究―明治期の語彙『世界商売往

〔田坂 憲二〕

岩松 祥子 A Comparative Study of

来』を中心に―

殿河内文子

『平家物語』における人物研究

〔向井 剛〕

〔坂本 浩二〕

村橋 郁子

王 雪艶 A Study of Toni Morrison's

洒落本の仮名遣い―「お・を・ほ」につい

て―

中其 瑞恵

〔今井 明〕

Sula [スリット・ジョー]

谷崎潤一郎論―『痴人の愛』を中心に―

〔矢野 準〕

『将門記』の研究

八木 順子

大江麻美子 A Study of Nathaniel

〔矢野 準〕

野上彌生子研究―『茶料理』を中心に―

Hawthorne's Short Tales

中村 仁美

薬師寺美幸

〔馬場弘利〕